

オープンハウスでいただいた主なご質問について

なぜ公共施設の再構築が必要なのですか。

経済の高度成長や人口の増加等に対応するため、多くの公共施設を整備してきました。これらの施設の多くは老朽化が進み、対応が必要な時期を向かえています。高齢化の進行等に伴う社会保障経費の増加が見込まれる中、すべての公共施設の維持管理や更新に必要な財源を確保していくことは困難です。

そのため、必要なサービスを確保するとともに、人口減少時代にあっても地域活力の維持・向上につなげていくためにも、公共施設の再構築が必要と考えています。

赤大路コミュニティセンター、富田公民館、小寺池図書館、富田支所は将来、一つの複合施設になるのですか。

4施設を複合化するものではなく、建築後相当年数経過していますが、耐震改修や維持補修等を行っており、利用者の限定もなく、多世代が利用できる状況にあることから、当面は長寿命化を図り、現状のままで使用していくことを想定しています。

なお、個別施設の更新に際しては、高槻市公共建築物最適化方針に基づき、複合化などの検討を行います。

新たな公共施設はいつ頃できるのですか。

今後、計画や設計などの手続きを進めていくため、供用開始まで時間がかかります。現時点では、具体的なスケジュールは決まっていません。

オープンハウスでいただいた主なご質問について

基本構想から施設一体型小中一貫校構想が外れたのに、なぜ富田地区として第四中学校区を含めたままにしているのですか。

公共施設の再構築を検討する上で、一定の範囲で、各公共施設の現状把握や方向性を検討することは、効果的なまちづくりにつながると考えたためです。